

議事録

1. 件名：「令和元年度核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に係る影響評価手法の精緻化」に係る打合せ
2. 日時： 令和 2 年 1 月 8 日(水) 10:00～11:50
3. 場所： 原子力規制庁 16 階 会議室
4. 出席者： 原子力規制庁
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門
大橋首席技術研究調査官、日比野統括技術研究調査官、石田技術計画専門職、
北村主任技術研究調査官、永井技術研究調査官、吉村技術参与

三菱重工業株式会社
パワードメイン 原子力事業部 機器設計部 主任 他 1 名
5. 要旨：
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に対する構造健全性評価手法の適用性を確認するため、核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に係る安全研究を、平成 29 年度から令和 2 年度にかけて計画し、実施している。当部門では、本安全研究の一環として、三菱重工業株式会社と請負契約を締結し、「令和元年度核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に係る影響評価手法の精緻化」事業を実施している。
当事業に係る第四回打合せを実施した。内容は下記のとおり。
 - ① 木材の材料試験条件について議論した。供試体及び治具の形状、荷重の荷荷方法、供試体の変位計測方法を確認した。また、非接触方式の変位計の詳細を議論した。
 - ② 核燃料輸送容器の落下加速度算定条件及び結果について確認した。この結果を踏まえ、核燃料輸送容器の静解析への荷重入力条件を決定した。
 - ③ 核燃料輸送容器の落下加速度算定ツール”CRUSH”に用いる入力データの設定方法について議論し、適用する応力-ひずみ曲線の範囲を変更した際の影響を検討することとした。
 - ④ 今後の供試体製作及び試験工程について確認した。
6. その他
特になし